学校番号	1007

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	保育芸術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育、幼児教育の現場で必要とされる芸術関係（音楽分野、美術分野）の基礎的な技能を身につけることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
【音楽】保育、幼児教育現場で必要となるピアノの基礎的、発展的な技能を身につけている。
【美術】絵の具や素材などの特性を理解し、保育、幼児教育現場で生かせる知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
【音楽】身につけたピアノの基礎的な技能を活かし表現豊かに演奏する。
【美術】身の回りのさまざまなものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞をしたりする。

【学びに向かう力、人間性等】
【音楽】音楽のさまざまな創造的な諸活動に、主体的に取り組む
【美術】美術のさまざまな創造的な諸活動に、主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【音楽】 保育、幼児教育現場で必要となるピアノの基礎的、発展的奏法を身につけている。 【美術】 子どもの発達とともに、形や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、画材や素材などの特性を生かして表す。	【音楽】 習得した基礎的、発展的なピアノの技法を用いて、意図をもって表現ができる。 【美術】 テーマや画材、技法などを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりできる。	【音楽】 保育、幼児教育の現場で必要となるピアノの基礎的、発展的奏法の習得に主体的に取り組んでいる。 【美術】 子どもの発達や活動の特徴を捉え、美術の創造的な諸活動に、主体的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	音楽	両手を使った楽曲 和音を伴った楽曲 分三和音を伴った楽曲	a：基礎的なピアノの奏法を身につけている b:基礎的な奏法を活かし、意図をもって表現ができている c：基礎的なピアノの奏法の習得に主体的に取り組んでいる	ワークシート 実技試験	ワークシート 実技試験	観察
1学期	美術	子どもの発達について 素材や道具の扱い方 子どもの工作についてその効果や意図を理解し、制作する。 様々な素材を使って作品を制作する。	a:「知」子どもの発達を理解し、形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果などを全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:「発」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や色彩などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」テーマに沿って感じたことや考えたことなどを基に表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品など	ワークシート 作品など	ワークシート 作品 発表など

2学期	音楽	童謡　基礎的、発展的な奏法を用いて	a:基礎的、発展的なピアノの奏法について身につけている b:基礎的、発展的な奏法を活かし、意図をもって表現ができている c:習得した基礎的、発展的なピアノの奏法を活かし演奏に主体的に取り組んでいる	ワークシート 実技試験	ワークシート 実技試験	観察
2学期	美術	廃材を使ったおもちゃの制作 子どもの発達年齢や活動から、主題を生成し、子どもが作って遊ぶおもちゃ作りを考え、作品をつくる	a:「知」子どもの発達を理解し、形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や子どもの活動を全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:「発」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、色彩などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」テーマに沿って感じたことや考えたことなどを基に表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート 授業態度

3学期	音楽	弾き歌い 保育の現場で用いられる楽曲の伴奏を弾きながら歌う	a:弾き歌いに必要なピアノの奏法について身につけている b:習得したピアノの奏法を活かし、意図をもって弾き歌いの表現ができている c:習得したピアノの奏法を活かし弾き歌いに主体的に取り組んでいる	ワークシート 実技試験	ワークシート 実技試験	観察
3学期	美術	保育の現場で子どもの活動のために作る遊び道具や掲示物などを制作する。	a:「知」子どもの発達を理解し、形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や子どもの活動を全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:「発」場面に応じた子どもの活動を考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、色彩などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」テーマに沿って感じたことや考えたことなどを基に表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	振り返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度